

# 技・家だより

令和5年度 第2号 通巻184号

発行

愛媛県教育研究協議会技術・家庭委員会

## 「学習指導要領のよりよい実施に向けて」

愛媛県教育委員会義務教育課 担当係長 関野 幸恵

### はじめに

今年1月1日に起こったこの度の能登半島地震において被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

地震等の自然災害による被害状況等を報道で目の当たりにし、生徒の安全と学びの保障を両立することとともに、教科を通して、地域の一員としての役割を自覚し、地域の方々と協働して活動することができる生徒を育成していくことの重要性を改めて感じているところです。

### 学習指導要領のよりよい実施に向けて

学習指導要領の「よりよい実施」を目指し、各校におかれては主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組まれていることと思います。来年度に向けて更なる改善を図る際に取り入れていただきたい視点を、文部科学省 熊谷有紀子教科調査官の話を中心にまとめました。

#### 1 中学校の内容を着実に実施

指導計画を立てて実施しているにもかかわらず、小学校の学習内容である玉止めや玉結びなどを扱ったため、また、高等学校の内容である高齢者の介護に関する学習等を扱ったために、時間が足りなくなったという経験はありませんか。学習指導要領及び解説において中学校で扱うべき学習内容及び学校段階を超えた系統性をしっかり確認した上で、その学習内容を3学年間の中で必ず扱えるよう題材配列を工夫した指導計画を立案しましょう。

#### 2 「何ができるようになるか」を最優先に

授業研修等の研究協議で、「1時間で調理実習をするために、どうしていますか。肉や魚の調理は何を扱っていますか。」など、「何をどう作るか」ということが協議の中心になっていることはありませんか。大切なのは「何ができるようになるか」です。おそらく、育成を目指す資質・能力を踏まえた上で話をしているのではないかと思います。限られた時間の中で学習指導要領に示された内容を進めていくために、つい、目的が料理の完成になっている場合があるのではないのでしょうか。調理実習を行うことで、生徒に達成感や充実感を味わわせ、学習意欲を高めることも解説には示されていますが、まずは、「〇〇ができるようになるために△△を扱う」と考えていくようにしていきましょう。

#### 3 「問題を見いだして、課題を設定する」過程を大切に 生徒に「あなたの日常生活の問題は何ですか。」と

尋ねるのではなく、生徒が今の自分の状況となりたい自分とのギャップに気付くように手立てを講じることが大切です。問題を見いだすためには、生活の振り返り、アンケート、インタビューを行ったり、思考ツールを用いて情報を整理したりすることなどが考えられます。そして、課題の設定に繋げるためには、生徒が自分の力で課題を解決したいと思える手立てが必要です。その手立てのヒントとなるのが、解説に示されている「課題については」「例えば…」の文章です。どのような場面を設定したり、仕掛けを作ったりすればよいかのヒントが書かれています。教師が手立ての引き出しをたくさん持っておくことで、題材に応じて適切な手立てを講じることができ、生徒にとって解決が必要な課題が明確になります。

### 県教育委員会の取組紹介

先日発行した学力向上だより No.5 には、国・社・数・理・英の5教科について「授業改善のポイント」が示されています。他教科においても授業を見直す大切な視点ですので、抜粋してご紹介します。

- 書くための授業から書きたくなる授業へ
- 用語を覚える授業から社会への関わり方を選択・判断する授業へ
- 解き方を覚える授業から過程を考え、説明ができる授業へ
- 課題や計画を与える授業から課題や計画を引き出す授業へ
- 学んでから使う授業から使いながら学ばせる授業へ

担当教科で前半部分に書いているような授業に心当たりはありませんか。後半部分のポイントを参考に、来年度に向けて、こんな授業にしようというキャッチフレーズを一つ掲げてみませんか。

また、夏季研修会でも紹介しましたが、E I L S (エイリス) の作問機能を効果的に使い、内容項目ごとに生徒の実態を把握するためのアンケートや学習した内容のミニテストを作成し、繰り返し活用することで、基本的な知識・技能の定着を図ることが考えられますので、ぜひ活用してください。

### おわりに

研修の度に、「学習指導要領と解説を読んでください。教科指導の拠り所となるものです。」とお伝えしてきました。授業をつくる時、授業を振り返る時、授業改善を図る時など、解説を見る機会を増やして内容をしっかり確認した上で、教科における資質・能力の育成に努めていただきたいと思います。

今後も、チームえひめ(技・家だより No.1 神野委員長)で、協力しながら生徒も教師もわくわくする技術・家庭科の授業を一緒に考えて実践していきましょう。

# 各管区の一年間の取組

## 技 術 分 野

### 【 中 予 管 区 】

「今年度を振り返って」

松山市立小野中学校 小田 祐太郎

夏季実技研修会では、愛媛大学の西先生、玉井先生、森先生を講師としてお招きし、内容C（エネルギー変換の技術）における、設計の内容の授業づくりについての研修を行いました。多くの教員が授業内容や題材設定の課題としていたところであり、今回のトランジスタを用いた電気回路の設計の実習は大変参考になりました。特に、Hブリッジ回路を使用したモータ制御の実習は、どのように回路を設計すればよいか、先生方も頭を悩ませながら実習に取り組めており、生徒に行わせる実習の感覚をつかむことができました。今回は内容Cの実習を行いました。もう一つ実習内容の希望として多かったのが、内容A（材料と加工の技術）におけるCADを用いた設計の内容でした。次年度の研修内容の候補としたいと思います。今後も「費用面も含め、どの学校でも容易に実践でき、学習指導要領の内容に題材として適したもの」を研修内容とできるようにしたいと思います。1年間大変お世話になりました。今後もよろしくお願いします。

### 【 東 予 西 管 区 】

「夏季実技研修会に参加して」

今治市立北郷中学校 近藤 忠浩

8月1日に今治市立北郷中学校で東予西管区の夏季実技研修会が実施されました。

「3Dプリンタの活用方法」の実習では、TINKERCADを使用して3Dデータを作成しました。TINKERCADはウェブブラウザ上で動作するため、サイトにアクセスするだけで簡単に利用できます。また、ウェブブラウザ上で動作するスライスソフトウェアや3Dプリンタで作成した教材などを紹介していただきました。

「授業におけるICT活用」では、iPadを使用して、生徒に実習や製作方法を説明するための動画を制作しました。iPadの「キーノート」でプレゼンテーションを作成したものを画面収録機能で記録するため、



時間を掛けずに簡単に動画を制作することができました。教員の授業準備の時間や労力を省けるとともに、動画をICT機器で共有することで、生徒は実習方法をいつでも確認することができます。手軽に説明動画を制作できるので、実習などの場面で活用していきたいと思いました。

### 【 東 予 東 管 区 】

「一年間の取組を通して」

四国中央市立川之江南中学校 井上 雄大

今年度は、夏季実技研修会を新居浜工業高等専門学校の松田雄二先生をはじめ、多くの先生が講師を引き受けていただき開催することができました。東予東管区内から多くの先生方に参加していただき、他市の先生方とも意見交換をすることができました。研修会では、消失模型型鋳造によるネームプレートの作製、サイクロン式卓上クリーナーの製作、エコランの紹介といった内容でどれも大変興味深く専門性の高い指導をしていただきました。専門的な角度からのアプローチと生徒目線で考える教材の融合として、今後の技術科教育を進めていく上での新たな知見となりました。

今年度の取組を生かし、より充実した教育活動の実践をしていきます。



### 【 南 予 管 区 】

「1年間の活動を終えて」

伊方町立瀬戸中学校 二宮 安道

今年度から管区が改編され、八幡浜管区と宇和島管区が合同となり、南予管区となりました。これまでは合同の言葉を使って実施してきましたが、今後は晴れて一つとなって開催することができることとなりました。その合同となった1年目の今年度も国立大洲青少年交流の家を会場に、夏季実技研修会を実施しま



した。午前には令和6年度に中四国大会で発表される木嶋隆之先生（城辺中）の研究内容を聞き、意見交換をしました。「エネルギー変換の技術」を通じた実践での取組がしっかりまとめられ、充実した話合いとなりました。午後からは山崎教育システム株式会社から講師を迎え、双方向システムを活用した学習の進め方について、実際の授業を想定した研修を行いました。授業で双方向システムについて学習しやすい教材を紹介していただき、今後に生かすことができる研修になったと思います。その後は作品審査や実践収録等について情報交換を行い、充実した研修を終えることができました。先生方には1年間お世話になりました。今後とも南予管区の技術分野の活動が盛り上がりますように、御協力をよろしくお願いします。ありがとうございました。

**家 庭 分 野**

**【 中 予 管 区 】**

**「鯛づくしの調理実習（夏季実技研修）」**

松山市立垣生中学校 藤本さゆり

河原調理専門学校から、近藤一樹先生・近藤和之先生を講師にお招きし、「鯛づくしの調理実習」を行った。久しぶりの調理実習で、「鯛ご飯」「鯛のおかき揚げ」「鯛の茶碗蒸し」

「伊予灘のらぶかん（レアチーズケーキ）」の調理の方法やポイントを教えていただき、和食と洋食それぞれのプロの技を目の前で見ることができた。調理後には、「現代の食環境と日本の魚食文化」や「こどもの脳と食の関係」について熱心に御講義いただいた。

また、昨年度に引き続き、余土中学校向井喜子先生が講師となって、E I L Sの研修を行った。生徒用テストに解答して、教師用の画面で、採点した結果がどのように見えるのか確認したり、細かな注意点を教えていただいたりして、大変有意義な時間となった。



**【 東 予 西 管 区 】**

**「チーム東予西」**

今治市立北郷中学校 正岡 佳奈代

今年度より、管区改編により、「チーム東予西」が誕生しました。隣接市ですが、交流がほとんどないため、初めはどうなることかと不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、先生方に助けていただき、なんとか1年を終えることができました。心より感謝いたします。

さて、夏季実技研修会の午前の部は、東京から日本クレジット協会の方を講師に招き、クレジットを中心とした金銭教育について研修を行いました。午後の部は、服のチカラプロジェクトに



ついてユニクロ株式会社から講師を招いて教えていただきました。両研修ともに、これからの授業の参考となる内容で、大変有意義な1日となりました。また、今治市教育研究所が行っている愛媛大学教育学部との連携による授業研修会にも、西条市や小学校の先生にも参加していただき、充実した研修会となりました。来年度は、今年度以上にパワーアップした研修が行えるようにしたいと思います。

**【 東 予 東 管 区 】**

**「今年度の活動を振り返って」**

四国中央市立三島東中学校 大西 瑞穂

今年度の夏季実技研修は、午前に四国中央市防災センターで消防防災体験講座、午後に三島東中学校で西条地方局から講師を招いて消費者トラブルについての話や中四国大会の提案発表についての話し合いをしました。防災センターでの講座は、体験（地震体験、消火体験、煙避難体験、瓦礫救助、指令室の見学と体験）することが多く、防災の意識が高まりました。また、午後からの消費者トラブルの話では、マッチングアプリやスミッシングなどの新しい内容もあり、参考になりました。提案発表の話し合いでは、執筆者の構想を聞いてから、各校の取組について紹介し合いました。今後、どの学校でも参考になるような話を聞くことができ、有意義な時間になりました。

今後も管区内の教員が情報を共有し、協力しながら研究を深めていきたいと思っています。

## 【 南 予 管 区 】

### 「1年間の取組について」

宇和島市立城東中学校 岡本 由紀

南予管区として初めて活動する年でした。これまで別々に活動してきた2つの管区が合同で活動することになり、連絡調整が上手くできるのか不安もありましたが、管区長、副管区長で協力し、スムーズに日程調整等ができました。

夏季実技研修会では宇和島水産高等学校の協力を得て、養殖の実際や魚嫌いをなくす調理を学び、高校生の起業プレゼンテーション、世界に向けて売り込む宇和島など様々な視点の研修ができました。養殖いかだでは、魚の種類やえさやりについて、鯛の調理では、魚のさばき方について、高校生が丁寧に説明し、補助してくれたので、充実した実習・研修ができました。さらに、漁業について明るい未来を感じることができました。

これまで少人数で活動してきましたが、管区を統合したことにより広範囲の先生方と情報交換ができ、それぞれの得意分野を生かした活動ができそうです。

## 第23回創造アイデアロボットコンテスト 愛媛県大会

11月26日(日)に伊予市立港南中学校で「第23回創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会愛媛県大会」が行われました。

○基礎部門	「Ace in the hole 3」
○計測・制御部門	「ワクワク！ロボット定植」
○応用・発展部門	「もっと支援物資を運搬せよ！」

上記の3部門に分かれて競技が行われました。

基礎部門、応用・発展部門は、予選リーグ、決勝トーナメントを行いました。計測・制御部門は出場チームが少なかったため決勝トーナメントを行いました。

各部門に分かれて白熱した試合が繰り広げられました。どの出場チームも、工夫あるロボットを持ち寄り、緊張感ある中で一生懸命に操縦をしていました。



## お 知 ら せ

### 広報局より

日頃より「技・家だより」を見ていただいているすべての方々に感謝申し上げます。

この度、ご多用の中、愛媛県教育委員会義務教育課担当係長 関野 幸恵様をはじめ、各管区長の先生方に原稿をご執筆いただき、「技・家だより」を発行することができました。

ご協力いただいた先生方、誠にありがとうございました。

広報局では、愛媛県技術・家庭科委員会Webページを運営しています。<http://ehime-gika.com/hp/>

こちらに、「技・家だより」や愛媛県の技術・家庭科に関わる情報、先生方の取組等を掲載していきます。

今後も、愛媛県の技術・家庭科の先生方のご活躍を発信していきます。

